



巻頭言



2024年（令和6年）の 病院医学誌の発行に当たり

済生会滋賀県病院 院長 三木 恒治

済生会滋賀県病院医学誌第33巻を発行するにあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

2023年度の論文として総説3編、原著5編、症例報告1編、看護研究1編、短報1編の計11編の論文を掲載しております。このうち消化器内科 石田紹敬先生の『表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する内視鏡診断と内視鏡治療成績』と画像診断科 飛田陽希先生の『診断参考レベルDRLs2020と比較した当院CT検査の被ばく線量』の2編が今年度の症例論文賞に決定しました。

新型コロナ感染症も2類から5類になりようやく落ち着きを取り戻して日常の診療ができるようになってまいりました。原著、症例報告、看護研究、総説ともに充実した内容であり、お時間のある時にご高覧いただき、ご意見、ご教示等いただけましたら幸甚に存じます。